

## 第4学年2組 社会科学習指導案

平成20年12月3日(水) 第4校時

授業者 T1 教諭

T2 教諭

- 1 単元名 わたしたちの福井県  
小単元名 くらしと土地の様子

2 小単元の目標

- ・県内のいろいろな地域の資料を集め、そこに暮らす人々の生活の様子について進んで調べようとする。(関心・意欲・態度)
- ・県内の特色ある土地の様子と生活の様子を関連づけて考え、県の特色をとらえることができる。(思考・判断)
- ・様々な資料を活用して、土地と生活の様子をとらえるととも県内の特色を白地図等に表すことができる。(技能・表現)
- ・特色ある土地の様子やそこに住む人々の生活の様子等から県の特色がわかる。(知識・理解)

3 小単元について

単元「わたしたちの福井県」は、県の様子について資料を収集して調べ、人々がそれぞれの土地でその自然条件等を生かしながら生活している様子を学習するとともに、その特色や良さについて具体的に考えることを学習内容としている。3年生「わたしたちの福井市」の発展学習であり、5年生「わたしたちの生活と食料生産・工業生産」6年生「世界の中の日本」、さらに中学校での地理学習へとつながっていく単元である。ここで今後の地理学習の基礎を養うことは重要なことである。

そこで、小単元「くらしと土地の様子」では、地形から見て特色のある地域として、坂井地区(平地のくらし)、小浜市(海べのくらし)、今庄地区(山地のくらし)を取り上げる。いずれの地域も実地調査が難しいため、パンフレットや写真、新聞記事、ホームページなどの資料を収集して調べさせる。そして、土地の利用の仕方や産業の特色を地形や気候等と関連づけて考えさせたり、そこで働く人々の工夫や努力などを理解させたりする。また、地図の効果的な活用も重要であるので、読図と作図の両面に力点を置いた作業学習を行う。さらに、今後の高学年や中学校での地理学習につなげていくために、各自が選んだ市や町の紹介ガイドブックづくりを発展学習として行う。

4 児童について

4年の社会科では、テーマを「○○○○たんてい団」として、問題解決型の学習過程で進めている。「?(問題把握)」「予想」「調べよう(事実調査)」「結果(関係考察)」「!(なるほど)」「まとめ」「発展追究」の学習パターンを繰り返すことによって定着を図ってきた結果、各自が見通しを持ちながら学習を進められるようになってきている。

また、越前和紙の里やクリーンセンター、九頭竜浄水場、東消防署、防災センターなどの見学を多く取り入れて学習してきたので、児童は実物に触れることによって、いろいろなことを発見することができた。五感を通じた見学体験は学習をより深めるためにたいへん効果があった。

しかし、今回の「わたしたちの福井県」の学習では、全員で何か所も見学することは困難である。そこで、保護者の協力も得ながら学習の資料(県内各地の観光パンフレットや写真、新聞記事、ホームページなど)を集めることにした。この活動は、児童にも好評で、集めることが楽しいと言う児童がほとんどである。中には、県内の17市町すべての資料を集めた児童もいる。また、出かけた先でいろいろな体験をしている児童も多い。このように、興味関心は高くなってきているが、それぞれの資料にどのような意味があるのか、土地の様子と生活の様子にどのような関連性があるのかについて考えようとする力はまだ不十分である。発表については、積極的に発言できる児童もいるが、良い考えを持っていても人前で発言することを苦手とする児童も見られる。

5 指導について

「わたしたちの福井県」の単元を学習するにあたり、児童の興味関心や意欲を高めるために4月から県内各地の観光パンフレットや写真、新聞記事、ホームページなどを集めさせている。

個人差はあるが、かなりの量が集まっている。これらの資料をできる限り活用しながら、人々の生活の様子や工夫、努力などについて調べさせたい。

導入では、小単元全体の学習計画（第1段階…坂井地区、小浜市、今庄地区の学習。第2段階…学習のまとめ「自分のおすすめの市や町の紹介ガイドブックづくり」）を児童に知らせる。ガイドブックづくりというめあてを持たせることによって学習への意欲づけを図りたい。

第1段階では、調べ方の学習パターンを次のような順序にする。①地図の読み取りの力（小中連携により成和中より要望されている力）を育成するために、学習する地域について位置や周りの市や町、土地の様子、交通の様子などを調べてその特色をつかむ。②資料をもとにして、産業の特色や人々の工夫や努力の様子をつかむ。③自分たちが住んでいる地域をより良くしていこうとする「まちづくり」の取り組みを調べる。以上の学習パターンを繰り返すことによって調べ方を定着させたい。そして、第2段階では、自分の力で調べてまとめた1冊のガイドブックができあがるようにしていきたい。また、できあがったガイドブックを見せ合うことによって、福井県の良さを知り郷土を大切にしていこうとする心も育てていきたい。

本時は、第1段階、今庄地区の②を扱う。ここでは、「なぜ、そばづくりがさかんなのだろう。」という学習課題についての自分の予想とその理由を考えさせ、カードに書かせる。そして班の中や全体の場で自分の思いを伝え合う。この活動を通して、本校の研究主題「思いをふくらませ表現することのできる子どもの育成」、中学年部会のテーマ「友だちの考えを受けとめ、自分の思いを素直に表現できる子どもの育成」に迫っていきたい。

## 6 指導計画（全25時間配当）

時	学習内容	ねらい	関	思	技	知	評価規準
1	くらしと土地の様子についての導入	自分が集めたパンフレットや新聞記事を見ながら、いろいろな土地に住む人々の生活を調べる計画を立てる。	◎				（関心・意欲・態度） 自分が集めたパンフレットや新聞記事を見ながら、調べる市や町を選び、調べる計画を立てることができる。
2	平地のくらし 一坂井地区一坂井地区の土地の様子や交通の特色をとらえる。	坂井地区の人口や位置、土地の様子、交通の様子を地図で調べ、その特色を理解することができる。			◎	○	（技能・表現） 坂井地区の人口や位置、土地の様子、交通の様子を地図で調べてまとめることができる。 （知識・理解） それぞれの特色が理解できる。
3 4	平地を生かした米づくりの様子について調べる。	米づくりがさかんな理由を考え伝えることができる。水田の様子を写真や資料をもとに調べ、その特色を理解し、従事している人の工夫や努力について考えることができる。		◎		○	（社会的な思考・判断） 米づくりがさかんな理由を自然条件や人々の工夫や努力から考えることができる。 （技能・表現） 自分の考えを伝えることができる。
5 6	丘陵地を利用したスイカづくりの様子について調べる。	スイカづくりがさかんな理由を考え伝えることができる。丘陵地を利用したスイカづくりの様子について調べ、その特色を理解することができる。	◎	◎		○	（社会的な思考・判断） スイカづくりがさかんな理由を自然条件や人々の工夫や努力から考えることができる。 （技能・表現） 自分の考えを伝えることができる。 （関心・意欲・態度） 意欲的に調べることができる。

7	海べのくらし —小浜市— 小浜市の土地の様子や交通の特色をとらえる。	小浜市の人口や位置，土地の様子，交通の様子を地図で調べ，その特色を理解することができる。			◎ ○	(技能・表現) 小浜市の人口や位置，土地の様子，交通の様子を地図で調べてまとめることができる。 (知識・理解) それぞれの特色が理解できる。
8	海の自然を生かした産業について調べる。	水産資源を生かした仕事について調べ，その特色を理解することができる。			◎	(知識・理解) 水産資源を生かした仕事の特色をまとめることができる。
9 ・ 10	「食のまちづくり」について調べる。	「食のまちづくり」に取り組んでいる理由を考え伝えることができる。 小浜市の自然環境や歴史・文化を生かした「食のまちづくり」について調べ，その特色を理解することができる。	◎	○	◎	(社会的な思考・判断) 「食のまちづくり」に取り組んでいる理由を考え伝えることができる。 (技能・表現) 自分の考えを伝えることができる。 (知識・理解) 「食のまちづくり」について分かりやすくまとめることができる。
11	山地のくらし —今庄地区— 今庄地区の土地の様子や交通の特色をとらえる。	今庄地区の人口や位置，土地の様子，交通の様子を地図で調べ，その特色を理解することができる。			◎ ○	(技能・表現) 今庄地区の人口や位置，土地の様子，交通の様子を地図で調べてまとめることができる。 (知識・理解) それぞれの特色が理解できる。
12 本 時 ・ 13	自然条件を生かしたそばづくりについて調べる。	そばづくりがさかんな理由を考え伝えることができる。 自然条件を生かしたそばづくりについて調べ，その特色を理解することができる。	◎	○		(社会的な思考・判断) そばづくりがさかんな理由を自然条件や人々の工夫や努力から考えることができる。 (技能・表現) 自分の考えを伝えることができる。
14	自然を生かす今庄地区の取り組みについて調べる。	今庄地区では，自然を生かしてどのような取り組みをしているのか調べ，理解することができる。			○ ◎	(知識・理解) 自然を生かした取り組みの様子をまとめることができる。 (技能・表現) 写真やグラフ，地図などを調べることができる。
15	まとめとふりかえり	坂井地区，小浜市，今庄地区のくらしと土地の様子をふりかえり，まとめることができる。	◎	◎	◎ ◎	(思・判・技・表・知・理) 坂井地区，小浜市，今庄地区のくらしと土地の様子をまとめることができる。

16 25	自分が選んだ市や町の紹介ガイドブックをつくる。	自分が選んだ市や町の人口や位置、土地の様子、交通の様子、産業、歴史、文化、観光ニュースなどをまとめた紹介ガイドブックをつくることができる。	◎	◎	◎	◎	(関・意・態・思・判・技・表・知・理) 意欲的に資料を集め、図やグラフ、地図などを使ってわかりやすくまとめることによって、調べた市や町の特色について理解することができる。
----------	-------------------------	---	---	---	---	---	--

7 本時の目標

今庄地区で、そばづくりがさかんに行われている理由について予想し、自分の考えを持ち伝えることができる。

8 準備物 南越前町のパンフレット、写真など

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)	
	T 1	T 2
○これまでの坂井地区、小浜市の学習をふり返る。	・自然条件を生かしながら人々が工夫や努力をしていることを思い出させる。	
○そばづくりがさかんな様子を知る。	・写真でそばづくりがさかんな様子をつかませる。	
○学習課題をつかむ。	・学習課題を提示する。	
なぜ、そばづくりがさかんなのだろう。		
○学習課題についての予想とその理由をカードに書く。 ・おいしいそばがとれるから。 理由…山が多いから、おいしいそばができる。 ・そばを食べる人が多いから。 理由…たくさん食べるから、たくさん作っている。	・理由を自然条件、人々の工夫や努力に分けて考えさせる。 ・予想した理由を自分なりに考えさせる。 ☆自分の考えを書くことができたか。	・理由があまり書けていない児童に助言する。 (カード…思考・判断)
○予想とその理由を班の中で紹介し合う。	・自分の思いが伝わるようにゆっくり話すように助言する。 ☆聞き手にわかりやすく発表していたか。	・班を回り、助言する。 (発表…技能・表現)
○班ごとに全体の場で発表する。	・同じ予想が多かったものから発表させる。 ・自然条件と人々の工夫や努力に分けて発表させる。	
○次時の学習について知る。	・次時では、予想を確かめるための調べ学習をすることを知らせ、意欲を持たせる。	

10 授業の観点

そばづくりがさかんに行われている理由について、自分の考えを持たせ、伝え合うための手立ては有効であったか。